



大穴中だより 6月号

確かな学びの力
おもいやりの心
健やかな身体

URL <https://www.city.funabashi.lg.jp/gakkou/0002/ooana-j/index.html>

学校HPのQRコード



令和8年6月1日
船橋市立大穴中学校

校長室より

毎日、成長していく生徒たちの姿に想うこと

校長 仲臺和浩

伝統ある大穴中学校での今年度の学校生活が2ヶ月過ぎました。5月15日、18日には多くの保護者の皆様のご参加をいただき、授業参観を実施しました。また、5月14日に1年生が中学校で初めて行うマザー牧場でのカレーライスづくり等の校外学習を、21日に2年生が鎌倉方面への班別行動を主とした校外学習を、そして、27日～29日には3年生が中学校生活最大の行事である修学旅行（長野方面）を行い、生徒たちは様々な体験活動を通してこれまでにない成果をあげることができました。実行委員をはじめ、一人一人の生徒が役割を十分に果たし、見事に成功を収めた学校行事はもちろんですが、毎日の学校生活での様々な活動を通して生徒たちは着実に成長しています。3年生は最高学年としての自覚とリーダーシップを発揮し、2年生は後輩の良き手本となろう、そして先輩から良き伝統を引き継ごうと努力し、1年生は中学校での生活に戸惑いながらも先輩たちを見習って一生懸命取り組み、大穴中学校の生徒一人一人が学校生活の随所で活躍しています。このように生徒たちが毎日、安心して学校生活を送れているのは、保護者や地域の方々をはじめ、たくさんの方々の見守りがあるからだと感じており、心から感謝しています。

6月10日（水）、11日（木）に前期中間テストがあります。1年生は中学校で経験する最初のテストです。日々の積み重ねを大切にして精一杯取り組んで欲しいと思います。大切なテストに臨む大穴中学校の生徒に次の言葉を伝えていきます。

努力しないで結果が出ると奢（おご）りになる。
努力しないで結果が出ないと後悔が残る。
努力して結果が出ると自信になる。
努力して結果が出ないとしても経験が残る。
その経験は人生において貴重なものになる。



大穴中学校の生徒一人一人が経験を積み重ねて、これから益々成長していくことを願っています。

6月のスクールカウンセラー出勤日

- 市のスクールカウンセラー 有田紗菜子先生の勤務日は、4日（木）、11日（木）、18日（木）、25日（木）となっております。県のスクールカウンセラー 石田絢子先生の勤務日は、5日（金）、12日（金）、19日（金）、26日（金）となっております。学校生活に関することやお子さんのことなどで相談がある方は、学校にご連絡ください。

6月の行事予定

日	曜	給食	行事予定	【最終下校時刻18:00】
1	月	○	短縮⑤ 月①～⑤	
2	火	○	短縮⑥ 火①～⑥	部長会 内科検診 教育相談1日目
3	水	○	短縮⑥ 水①～⑥	歯科健康診断 教育相談2日目
4	木	○	短縮⑥ 木①～⑥	学評専門委員会
5	金	○	短縮⑥ 金①～⑥	教育相談3日目
6	土		諸活動停止 (~12日)	
7	日			
8	月	○	短縮⑤ 月①～④火⑥	
9	火	○	平常⑥ 金①～④火⑤月⑤	内科検診 10組5校時終了後下校
10	水	×	前期中間試験1日目	
11	木	×	前期中間試験2日目	
12	金	○	平常④ 水①～④	採点処理日 体育祭実行委員会
13	土			
14	日			
15	月			
16	火	○	短縮⑤ 水③④木⑤⑥火①	全評 教育相談4日目
17	水	×	千教研日課 水①②⑤⑥	特別支援学級見学会
18	木	○	短縮⑥ 木①～⑥	教育相談5日目 10組5校時終了後下校
19	金	○	短縮⑥ 金①～⑥	教育相談6日目 体育祭実行委員会
20	土			
21	日			
22	月	○	短縮⑤ 月①～④水⑥	
23	火	○	平常⑥ 火①～⑥	3年第1回進路保護者会
24	水	○	平常⑥ 水①～⑤ 月⑤	激励会リハーサル
25	木	○	短縮⑥ 木①～④・激励会	
26	金	○	短縮⑥ 金①～⑥	眼科検診 教育相談7日目
27	土			
28	日			
29	月	○	短縮⑤ 月①～④水⑤	
30	火	○	短縮⑥ 金①～⑥	部長会 探究デー

7月の主な行事

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 1 (水) 3年実力テスト | 13 (月) 1、2年、10組保護者会 |
| 2 (木) 体育祭実行委員会 | 15 (水) 体育祭実行委員会 |
| 6 (月) 歯科集会 | 16 (木) 大掃除 |
| 8 (水) 千教研船橋支会 10組合同キャンプ | 17 (金) 全校集会 |
| 9 (木) 10組合同キャンプ | 21 (火) 3年三者面談 (~7/30) |

お知らせとお願い

【情報モラル集会を実施しました】

5月25日(月)に情報モラル集会を実施しました。大六中では、毎年この時期にネット犯罪等に関する話を専門家から聴く機会を設けています。今年度は、千葉県警察本庁千葉地区少年センター専門員と暴力団排除推進室の方々に講師としてお招きし、「スマートフォン・SNSの利用で起こるトラブルなどを紹介してもらいました。また、この数年間で問題見られているオンラインカジノや闇バイトにまつわる犯罪に巻き込まれないための対策も全校で再認識しました。

【千葉県民の日について】

1873年(明治6年)6月15日、当時の木更津県と印旛県が合併して、千葉県が誕生し、現在の千葉市中央区本千葉町に千葉県庁が設置されました。この日を由来として、一般公募により選ばれ、1984年(昭和59年)に記念日として制定されました。また、県条例において「県民の皆さんがふるさとを愛し、豊かな千葉県を築くことを期する日」と定義されています。

教育委員会からのお知らせ

【令和8年度特別支援教育就学奨励制度について】

「特別支援教育就学奨励費」は、特別支援学級等に通う児童生徒や、通常学級に通う障害(療育手帳、身体障害者手帳等)を持っている)のある児童生徒の保護者に対し、給食費(中学校)・通学費・学用品費などの必要な経費の一部を援助する制度です。希望される方は学校に用意されている「特別支援教育就学奨励費にかかる収入額・需要額問書 兼 同意書」に必要事項を記入し、必要書類を添付して学校へ提出してください。詳細は船橋市のホームページをご確認ください。

<https://www.city.funabashi.lg.jp/kodomo/teate/005/p1008696.html>

(問い合わせ：教育委員会 学務課 047-436-2852)

【令和8年度における教科書展示会の開催について】

この展示会は学校関係者及び保護者・一般の方も閲覧できます。

展示会場	日時	展示教科書
船橋市役所 7階 705号室 船橋市湊町2-10-25	6月1日(月)から6月5日(金)まで 午前9時から午後5時まで	① ② ③ ④
船橋第二教科書センター 船橋市総合教育センター内1階ロビー 船橋市東町834	6月23日(火)から7月8日(水)まで 午前9時から午後4時30分まで ※(日)休	① ② ③
船橋教科書センター 県教育庁葛南教育事務所内 船橋市浜町2-5-1	6月15日(月)から7月2日(木)まで 午前9時から午後4時まで ※(土)(日)休	① ②

- 展示教科書 ① 9年度使用予定の小学校教科書
② 9年度使用予定の中学校教科書
③ 特別支援学校及び特別支援学級用教科書
④ 市立高等学校教科書【令和8年度使用教科書】



もしもお子さんが

読みが苦手かも？ 書きが苦手かも？ 計算が苦手かも？

と思ったら・・・

このようなことに困っていますか？（一例）

<読み>

- 文章をスムーズに読むのが難しい。
- 一文字ずつ読む。まとまりの捉えが弱い。
- 読み飛ばし、読み間違いがある。
- 自分では読みたがらず、読んであげると理解できる。 など

<書き>

- 黒板の字や教科書を書き写せない、または、書き写すのに時間がかかる。
- 鏡文字や書き間違いが多い。
- ひらがなやカタカナ、漢字が覚えられない。 など

<計算>

- 簡単な数字、記号がわからない。
- 繰り上げ、繰り下げの筆算が苦手。
- 図形やグラフが苦手、理解できない。 など



「知的発達年齢は年齢相応ですが、読み・書き・計算など、特定の学習だけが極端に苦手な状態*」なのかもしれません。「努力が足りない」とか「やる気がない」といったことではありません。また、「いつかできるようになるだろう」と様子を見たまましているとお子さんの学習意欲の低下に繋がる可能性があります。

お子さんによって、1つだけ苦手な場合もあれば、複数が重なっている場合もあります。

*医学的なアドバイスや診断等は、医療機関となります。

子供一人一人に合わせた、いろいろなサポートが考えられます

<読み>



- ・音読が苦手。
- ・一文字ずつ読む。
- ・小さい文字(「っ」など)が苦手。
- ・文字を音にできない
- ・似ている文字がわからない。



- ・マルチメディアデージー教科書(音声付き電子教科書)で音声で聞く。(学校から申請可能)
- ・読んでいる行だけを強調できるように定規や補助具を使用する。



<書き>



- ・文字が書けない。
- ・文字が写せない。
- ・鏡文字を書く。
- ・書くのに時間がかかる。



- ・マス目の大きなノートを使う。
- ・鉛筆に補助具を使用する。
- ・板書を写真に撮る。
- ・ノートの代わりにタブレットやパソコン入力(音声入力やタイピング)にする。



<計算>



- ・算数の記号がわからない。
- ・数の大小などの概念が苦手。
- ・繰り上げ・繰り下がりができない。



- ・指の代わりにブロックやおはじき、10玉そろばんなどを使う。
- ・電卓の使用許可。
- ・九九表を手元に置く。



サポートを受けるということは、大切な「メガネ」を見つけること

視力の弱い人がメガネをかけるように、「その人に合った道具」が必要です。それを使うことが特別扱いではなく、みんなと同じスタートラインに立つための大切な「道具」となるでしょう。お子さんが躊躇せず、使用できるように周囲の理解も大切です。

いろいろなサポートの方法がありますが、必ずしも全てがお子さんに必要かどうかはお子さん本人の気持ちも重要です。学校と家庭で情報共有しながら一緒に歩みを進められると良いでしょう。

お子さんのことで気になることがあれば学校の担任の先生や各学校にいる特別支援教育コーディネーターへご相談ください。

ご希望があれば学校で話し合ったり、他機関と連携を図ったりします。



学校での支援については「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」を作成し、学校と支援方法について一緒に考えていきましょう。



船橋市総合教育センター

教育支援室 特別支援教育班

TEL 047-422-9236

